

新井中央小だより

ホームページ <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/araich-s/otayori/index.html>

No.254

メールアドレス chuou@ac.city.myoko.niigata.jp

2020（令和2）年11月27日

本当に大切なもの

もみじの手にもみじ 宝物二つ

あきら詠む



11月の寒い朝。登校する子どもたち。見ると、一人の子の手に、もみじの葉が一枚。お手々も真っ赤、もみじの葉っぱも真っ赤。そのもみじの葉は、あなたの宝物なんだね。わたしの宝物は、あなたですよ。

新型コロナウイルスの第3波が来ています。不安の中で、大切なものを忘れてしまいそうな気がします。でも、大変な時だからこそ、大切なものに気付かされるのかもしれない。

ウイズコロナの時代、新しい生活様式の中での子どもたちとの学校生活は、自分にとって本当に大切な物を子どもたちから教えてもらっている貴重な時間に思えます。

新しいスタイルでの学習発表会。1日1学年限定、学年ごとの学習発表会。先日で、全学年の発表会を実施完了しました。全学年の発表をすべて観させてもらって感じたこと、考えたことがあります。まず、子どもたちのやる気、パワー。応援するつもりで観ていたのが、終わる頃には、心のエネルギーを充電してもらった感じでした。次に感じたのが、どの学年も個人として、集団としてしっかりと力をつけているということです。発表する子どもたちの姿、発表内容からそれがよく分かりました。そして、もう一つ感じたこと。それは、どの学年も、今、正に学んでいること、子どもたちが一生懸命取り組んでいる学習、「旬の学び」を発表しているということです。

自画自賛と笑われそうですが、私は、今年の学習発表会は、子どもたちの成長という点で大きな成果があったと思っています。その要因はなんでしょう？もちろん、子どもたちのがんばり、先生方のがんばりは、大きな要因です。その他の大きな要因として新しい発表スタイルがあったと考えています。新しい発表スタイルでは、各学年、発表する期日を独自に設定できます。発表する日が決まっていて、そこに学びを合わせるのではなく、子どもたちの学びに発表する日を合わせるすることができます。普段の学び、「旬の学び」を無理なく観てもらうことができます。発表するのは、その学年だけです、1コマだけの時間設定ですが、今までなら10分ほどで収めなくてはならなかったのが、1コマ45分をその学年だけで存分に使うことができます。時間を気にせず発表できて、早く終われば終わったでそれでいいのです。この自由度は大きい。子どもたちが発表したいことをおもいきりさせてあげることができます。子どもたちからのアイデアをどんどん取り入れてやるすることができます。発表の仕方も個々にスポットを当てての発表、グループで、屋台形式のポスターセッション、親子ごとに対面などで、様々なことができました。これで、子どもたちのやる気が出ないわけがない。主体的にならないわけがない。力がつかないわけがない。

発表会を終えた今、「この発表スタイルもなかなかいいな。」と思っています。いいことは、自然と流行ると思っています。コロナ禍の先の教育課程への手がかりを得た気がしています。

大変な時だからこそ、本当に大切なものを中心に据えて教育活動を進めていきたいと考えています。これからも、子どもたちへの応援をよろしくお願いします。

校長 加藤 晃